



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.48

Edition July 19th, 2017

アジア大会とWKFの方針

2020年までのAKF大会開催地決定

カザフスタン・アスタナにおいてアジア空手道選手権大会が開催されました。競技に先立って開催されたアジア空手連盟(AKF)総会・理事会には、WKFエスピノス会長とともにオブザーバーとして参加しました。

総会では、来年以降はシニアとジュニア&カデットの開催国を分け、アジア選手権大会を毎年開催することが決定しました。これは、WKFが掲げている大陸選手権の方針です。大陸連盟主催の大会は、いずれもWKF世界ランキングの対象であるため、全5大陸において毎年開催されることが望ましいのです。

WKFランキング委員会設置

上記に加え、エスピノス会長よりWKFの方針説明がなされました。まずは、東京オリンピックや2018ユースオリンピック予選を含め、「WKF世界ランキング」の重要性です。

ランキング制度の充実を図るため、先般WKF内に「ランキング委員会」を設置しました。ランキング制度についてはこれまで申し合わせ事項を設けるに留まっていたましたが、委員会によって「規則」を策定します。

プレミアリーグの出場制限

さらに、プレミアリーグについても「全選手に開かれた国際大会を開催し、競技を活性化する」という理念を維持しながらも、2018年より、一部



(上) AKF理事一同

(下) アスタナの大規模なモスク



出場制限を設けることになりました。

出場選手数の急増や、プレミアリーグの生放送が始まったこと、獲得するポイントがオリンピック予選に多大な影響を及ぼすこと等が理由です。

個人戦において1種目の選手数を64名に限定します。出場申し込みを数段階に分けて行ない、WKF世界ランキング50位以内に入っている選手を優先し、高い競技レベルを維持します。また、出場選手の国が偏らないよう、最終段階までは、同一国から2名までしかエントリーできないこととしました。

世界空手連盟 事務総長

奈藏稔ス

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wgf-gs.jp